

2012年10月26日
株式会社損害保険ジャパン
日本興亜損害保険株式会社

道路交通安全マネジメントシステムの国際規格 ISO 39001 で世界初の認証取得

株式会社損害保険ジャパン（社長 櫻田 謙悟、以下「損保ジャパン」）および日本興亜損害保険株式会社（社長 二宮 雅也、以下「日本興亜損保」）は、NKSJリスクマネジメント株式会社（社長 石川 秀洋、以下「NKSJ-RM」）と連携し、このたび、道路交通安全マネジメントシステムの国際規格である ISO 39001 で世界初の認証を取得しましたのでお知らせします。

1. 取得までの経緯

損保ジャパンおよび日本興亜損保は、道路交通安全マネジメントシステムの国際規格である ISO 39001 の趣旨に賛同し、両社が持つ交通事故防止に関するノウハウが、世界中の多くの企業にモデルケースとして活用されることを目的として、ISO 39001 のドラフト作成段階に実施された「パイロット事業」に参画しました。

その後、2012 年 9 月に ISO 39001 (FDIS ※1) で世界初の認証を取得、2012 年 10 月の ISO 39001 正式発行に伴う FDIS からの差分審査※2 を受審し、IS（国際規格）での登録証を取得しました。

※1 FDIS: Final Draft International Standard の略で「最終国際規格原案」のことをいいます。

※2 差分審査: ISO 39001 (FDIS) から ISO 39001 規格に移行するための審査をいいます。ISO 認証機関である「一般財団法人 日本品質保証機構」が世界に先駆けて実施したものです。

2. 今後の取り組み

損保ジャパンおよび日本興亜損保は国内外の道路交通安全および持続可能な社会づくりへ貢献するため、すべてのステークホルダーに対する交通事故防止支援活動の実効性を高めていきます。

また、今般の認証取得の経験をもとに、NKSJ-RM との共催で ISO 39001 取得を検討する企業を対象に 2013 年 1 月以降「ISO 39001 セミナー」を開催する予定です。

◆道路交通安全マネジメントシステム（ISO 39001）とは

2010 年 3 月の国連総会において採択された『道路交通安全 10 カ年活動（2011-2020）』で、全世界における交通事故死亡者・重傷者の 90%を占める発展途上国での交通事故防止に向けて、日本を含めた先進国は交通事故防止のノウハウや成果を積極的に共有すべきであるとされています。このような状況のなか、世界 33 カ国が参加する国際標準化機構の国際会議において、交通安全に対する取り組みへの国際規格として「道路交通安全マネジメントシステム（ISO 39001）」の開発・検討が進められ、2012 年 10 月に正式発行されました。

ISO 39001 は、交通事故死亡者および重大な負傷者の発生根絶を目標とし、当該目的達成のために 2020 年までに全世界で 10 万件の認証（ISO 14001 と同水準の事業者数）を目指しています。

以上